

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和4年12月19日 第8号

ホームページ <http://www.hachijomachi-tyky.ed.jp/fuji-jhs/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒
《校訓：自主・敬愛・根気》

「海の動物からのメッセージ～イルカ、ウミガメ編～」

副校長

2学期も残すところ今週いっぱいとなりました。2学期が始まったばかりの頃は気温が高く、暑い中での運動会練習を頑張りました。陸上競技記録会、合唱コンクールと行事に協力して取り組みながら、中間考査や期末考査でも、主体的に考え、工夫して全力で取り組む富士中生の姿が見られました。1学年は、行事の取組状況や期末考査の結果と向き合い、来年度に向けて課題克服や目標を考えました。2学年は、移動教室での体験や学んだことをまとめ、来年度の修学旅行に向けての学習が始まりました。3学年は、進路に向けて自分と向き合い取組を進めています。生徒一人一人が自分のやるべきことを見極め、目標に向けて取り組むことができるのは、日頃から保護者・地域の皆様の学校教育へのご理解ご協力の賜と感謝申し上げます。

これから始まる冬休みは、3学期に向けて一日一日を大切に過ごすことが必要となります。1、2学期の学習内容を振り返り、復習して3学期の学習に備えることは不可欠と言えます。また、新しい年を迎えるにあたり、決意を新たに取組もうと鼓舞することもあるでしょう。さらに、年末年始の大切な行事に触れ、改めて伝統や家族との関わりを意識する機会とも言えるでしょう。

新しい年がきて早々の1月8日、八丈島パブリックロードレース大会が3年ぶりに現地開催予定です。パンフレットにはクジラの写真が印刷されています。クジラは、冬になると子育てをするために温かい海に回遊してくるそうです。

また、八丈島近海を航行する船からは、波間にイルカも見ることができます。クジラもイルカも、姿を見ることができたとき、とても嬉しくなります。さらに、海岸にはウミガメもいます。人間では泳ぐのが難しそうな荒れた海で、海の動物は悠々と泳ぐ姿を見せてくれます。

イルカは、実はクジラとの区別の仕方が研究者や地域によって違い、定義がはっきりしていないそうです。イルカというと、群れで行動する光景を思い浮かべます。群れで行動するとき、イルカ同士がコミュニケーションしている可能性が高いとも言われています。一般的に、好奇心旺盛で人なつこく、船に添って泳ぐ姿や、優しいイルカの顔つきは、人間にとって癒やしにもなり得ます。イルカの群れには、体の小さなイルカがいることもあります。群れの中には育てる役目のイルカがいて、泳ぎ方等を教えていると考えられています。大海原で、イルカは互いにコミュニケーションをとり、協力し合うことで天敵から襲われにくく、暮らしやすい環境をつくり出していると言えます。困っていることがあれば、コミュニケーションをとってみんなで知恵を出し合い協力して克服に向けて行動する。そして、小さな子どもをしっかり面倒みて、分からないことは教えてあげる。このようなイルカの群れの行動は、人間の日々の営みと共有することができると思います。イルカの群れの生活からは、人間の学校や家族等集団生活のあるべき姿を見せてもらっているように感じます。

ウミガメというと、島の海岸の砂浜で、雌ウミガメの産卵する姿を思い浮かべる人が多いことでしょう。卵からかえった子ウミガメは、沖へと向かう習性があるようです。どのように成長するのかは、ほぼ解明されていなくて、生まれてから親や集団で行動する姿は確認されず、単独で行動すると言われています。また、ウミガメは外温動物と考えられてきましたが、温暖な地域だけでなく、北海道でも目撃されています。暑さ、寒さという気温の差異には適応できるのだということはわかっていますが、その仕組みは謎が多いようです。海水が温かくても冷たくても生活できるウミガメからは、その場に応じた対応力を身に付ける大切さを教えられているように思います。ウミガメの種類によるものなのか、不思議な能力によるものなのか等、仕組みの研究が進んでいるようですが、多様な環境で生活していくことが求められるグローバル社会では、身に付けたい力と言えるでしょう。

イルカやウミガメは、海の中で生きていくためにさまざまな能力を身に付けて発揮しています。海をすみ処として泳ぐ姿からは、みんなで役割を決めて何をすればよいか考え、困難を果敢に乗り切っていくというメッセージとともに、多様性を理解して自分の力を高める努力をしようというメッセージが発信されているように感じます。八丈島の海岸で海を眺めているとき、波の音と一緒にイルカやウミガメから、より良い生活のためのアドバイスが聞こえてくるかもしれません。

富士中学校では、毎週各学年だよりの発行と富士中学校ホームページの記事の更新をし、教育活動を紹介しています。どうぞご覧ください。(出典 peppy>peppy, petpedia.net>大型哺乳類>イルカ, academist Journal>joarnal)

東京都中学校駅伝競走大会

11月12日（土）、江東区夢の島競技場特設コースにて東京都中学校駅伝競走大会が行われました。選手たちは島内予選を勝ち抜き、合同練習を経て、代表としての意識を高く持って参加しました。富士中の2年生は移動教室に引き続きの駅伝大会への参加でしたが、よく頑張りました。

感染症対策として今年も厳選された都内の上位校で競い合いましたが、結果は女子が36位、男子が56位と大健闘でした。富士中からは男女7名が参加し貢献しました。

大会参加にあたり皆さんのお協力やご声援が選手たちにとって大変励みになりました。ありがとうございました。

（保健体育科）

2学年移動教室（職場体験）

11月10日から12日に、本校で初めてとなる移動教室が行われました。昨年度までは、島外での宿泊行事は修学旅行しかありませんでしたが、今年度より、修学旅行を前に島外での宿泊や班行動を体験することができるようになりました。

1日目は、移動教室最大の目的である職場体験が行われました。4つの事業所に分かれ、事業所内を見学するだけでなく、事業所の方々と直接コミュニケーションを取ったり、事業所で通常行われている業務を体験させていただいたりすることができました。島内で行う職場体験の時とは異なる緊張感の中、積極的に質問をしたりメモを丁寧に取ったりして今後の学習や生活に生かそうとする姿が印象的でした。

2日目の午前中には、豊洲市場を訪れました。市場内を見学する中で、職員の方に市場の説明だけでなく、その方の仕事観や八丈島との関連等についても聞くことができました。テレビ等で目にする競りのイメージが強い豊洲市場でしたが、幅広い市場の役割を知り、市場と八丈島とのつながりを実感することができ、市場が身近に感じることができました。

午後には、Tokyo Global Gateway（体験型英語学習施設）にて、班ごとにオールイングリッシュの環境で英語学習に取り組みました。オリエンテーションが始まると、生徒と引率教員はわかれ、生徒はネイティブスピーカーのスタッフ（エージェント）と共に学習に取り組みます。つまり、生徒は絶対に英語しか話せなくなる状況になります。薬局や旅行代理店、レストランなど本物そっくりの施設で、生徒が力を合わせミッションをクリアすることでリアルな英語を学習しました。

11月25日には、班ごとに移動教室で学んだことをプレゼンテーションソフトにまとめ、事後学習発表会を行いました。行事や定期考査が続く中、熱心に取り組んでいました。

（2学年）



1月の主な予定

1月10日（火）始業式	23日（月）学校朝礼
11日（水）職員会議	25日（水）職員会議
13日（金）委員会	27日（金）委員会
16日（月）生徒会朝礼	生徒会週間（終）
生徒会週間（始）	30日（月）生徒会朝礼
18日（水）町教研一斉部会	学校公開（始）